

# 浅間山噴火に伴う農作物等の技術対策について

平成 27 年 6 月 16 日  
農 業 技 術 課

現在、長野県内への降灰は確認されていませんが、今後の火山情報や気象状況には十分注意してください。万が一、農作物等への影響が心配される場合は、下記の点に留意してください。

## 【共通】

- (1) 降灰等が農作物に長期間付着すると生育に影響を及ぼすおそれがあるため、ブロワーによる払い落としや動力噴霧器等により散水を行い、できるだけ速やかな除去に努める。
- (2) 気象庁の発表する噴火警報等に十分留意し、噴石の降下等の危険が予測される場合は、農作業を行わないこと。降灰下で作業を行う場合は、防護メガネ、防塵マスクを着用し、火山灰が皮膚に触れないよう服装に留意する。

## 【予防対策】

- (1) 野菜
  - ア 苗床は、できるだけパイプハウス等を利用して降灰に備える。
  - イ 収穫期の葉菜類は、被覆資材を降灰前にできるだけ被覆する。
- (2) 飼料作物
  - ア 噴火による降灰は相当長い期間被害を与える恐れがあるので、危険区域外に飼料作物を確保する。
  - イ 屋外にある乾草、稲わら等は集積してポリフィルム、またはビニルフィルムで被覆する。

## 【事後対策】

- (1) 共通
  - ア 降灰により商品性の低下などが懸念される。降雨により細部に流れ込んだり、固まったりする心配があるので、農作物に積もった灰は、できるだけ速やかに除去する。
- (2) 作物(麦)
  - ア 降灰後、コンバインで作物を収穫する際には、フィルターのつまりを防止するために、こまめに掃除を行うこと。
- (3) 果樹
  - ア 降灰を受けた場合は、ブロワーによる払い落としや動力噴霧器等により散水して灰を除去する。ブルーベリーは、がくあ部に灰が付着しやすいので丁寧に払落としを行う。
  - イ 収穫期に達した果実は除灰し、速やかに収穫する。なお、出荷に際しては、以降も出荷団体と充分協議をし、クレームとならないよう留意する。
- (4) 野菜
  - ア 降灰を受けた場合は、水洗いをする。
  - イ 結球して収穫期に達したものは速やかに収穫する。なお、出荷に際しては、以降も出荷団体と充分協議をし、クレームとならないよう留意する。

(5) 花き

きくの葉に積もった灰は、水をかけると固まってしまい流れ落ちなくなるので、フラワーネットを持って茎を揺するなどして灰を落とす。なお、朝露や降雨でも灰が固まるので注意する。

(6) 特用作物（葉タバコ）

降灰を受けた場合は、水洗いをする。

(7) 家畜・飼料作物

ア 放牧中の家畜は直ちに下牧させ、降灰で汚れた牧草を採食させないようにする。特に馬は敏感で疝痛を起こしやすいので注意する。

イ 降灰で汚染した河川の水は、原則として飲ませないようにする。

ウ 刈り取り期となった飼料作物、牧草は、刈取直前に灰をよく払い落としてから刈り取る。なお、除灰不完全の草は水洗いし、水を切ってから給与する。

エ ほ場で乾燥中の牧草は反転を繰り返し、除灰してから収納する。

オ 野外に集積貯蔵中の牧草、稲わらはビニルシート等で被覆し、降灰による汚染を防ぐ。

(8) 施設園芸共通

ア パイプハウス等の被覆資材に付着した火山灰は、速やかに除去する。高所での作業の際には、転落事故が起きないように十分注意する。

イ 被覆資材面の除灰には、動力噴霧器による高圧ノズル（鉄砲ノズル等）を利用した洗浄が最も効果的である。

ウ ハウス谷部の火山灰堆積が多いと、ハウス内部への落下や、巻き上げ部の埋没等により換気ができないので、谷部の除灰作業を優先する。

エ 被覆資材面に残る微細な火山灰は、洗浄しても落ちないため、できるだけスポンジや布等を利用して、傷つけないよう注意して拭き取る。